

税関の3つの使命

安全・安心な
社会の実現

- テロ関連物資の取締り
- 不正薬物の取締り 等

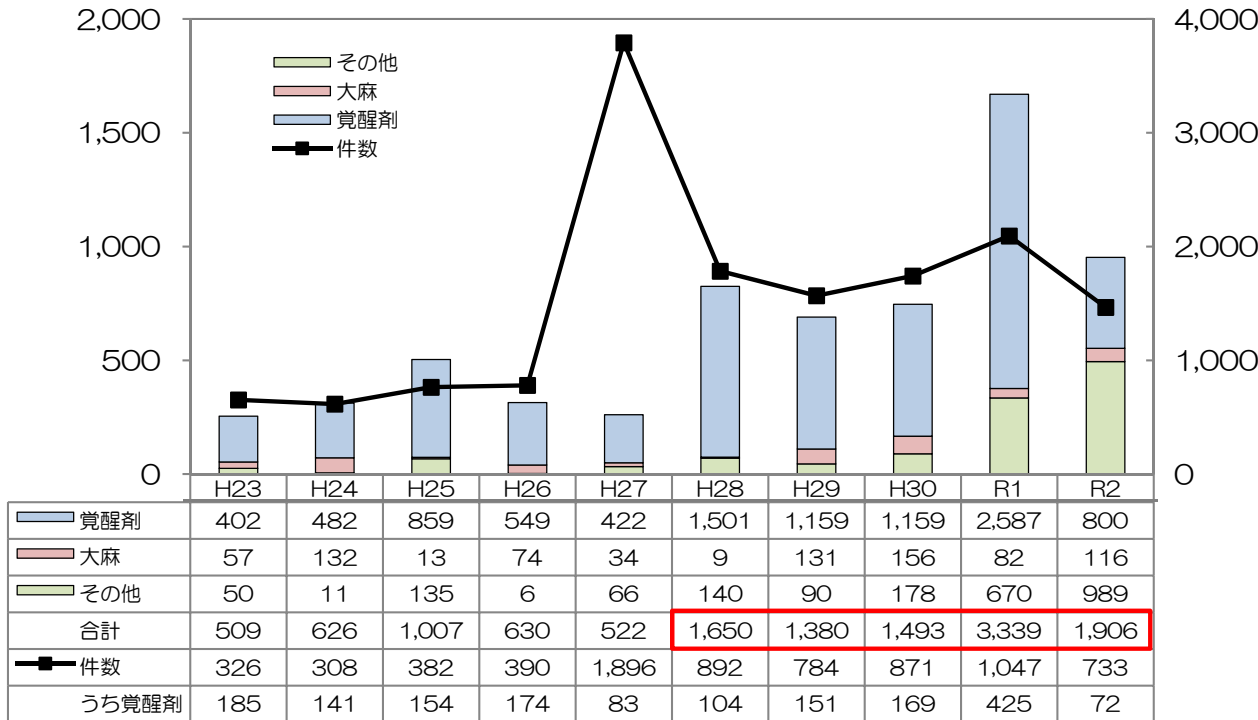
貿易円滑化
の推進

適正かつ公平な
関税等の
賦課徴収

安全・安心な社会の実現 ～不正薬物の摘発状況～

- 令和2年における不正薬物全体の押収量は、5年連続で1トンを超え、2トンに迫る過去3番目を記録し、深刻な状況。
 - 摘発件数は733件(前年比30%減)、押収量は約1,906kg(同比43%減)
 - 覚醒剤の国内押収量全体(約6,946kg)に占める密輸押収量(約6,827kg)の割合は約98% (平成27～令和元年累計)

(摘発件数：件) 不正薬物の摘発件数と押収量の推移 (押収量：kg)



(注) その他とは、あへん、麻薬(ヘロイン、コカイン、MDMA等)、向精神薬及び指定薬物をいう。
令和2年は速報値。

令和2年4月、横浜税関は、エクアドルから横浜港に到着した海上コンテナからコカイン約722kgを発見・摘発した。



麻薬探知犬を活用した効果的・効率的な取組

主な取組内容

1. 効果的・効率的な取組み

- ◆ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う入国規制の影響により入国者数が大幅に減少したことや航空貨物の輸入申告件数が対前年比で約1.5倍に増加したこと等、行政需要の変化を踏まえ、不正薬物の摘発が多い官署等に、麻薬探知犬を柔軟かつ機動的に投入している。

(注) 取組み上の支障が生じることから、麻薬探知犬の投入官署等については公表を差し控えているところ。

- ◆ 麻薬探知犬を活用した効果的な取組みを実施することの必要性及び平成26年度行政事業レビュー有識者会合の所見を踏まえ、育成管理の知見の集約を念頭に、麻薬探知犬の能力やハンドラーのハンドリング技術の向上等のため、役職や年齢等に合わせた意見交換や議論の場を設けている。

2. 育成管理、能力維持の経費に係る効果的な取組

- ◆ 平成26年度行政事業レビュー有識者会合の所見を踏まえ、麻薬探知犬の健康状態や能力等を考慮した上で、退役延長が可能な麻薬探知犬については、任期を1年間延長することにより育成費用を抑制している。

政策評価との関係

■ 令和2年度財務省政策評価書における政策目標

政策目標 5 - 3 : 関税等の適正な賦課及び徴収、社会悪物品等の密輸阻止並びに税関
関手続における利用者利便の向上

施策 政5-3-2 : 社会悪物品等の密輸阻止
政5-3-5 : 税関行政に関する情報提供の充実

測定指標：定量的指標と目標値

- ① 政5-3-2-A-1 : 不正薬物の水際押収量の割合 過去5年の平均より増加
- ② 政5-3-5-A-4 : 密輸取締り活動に関する認知度 過去5年の平均より増加



【本事業の成果と上位施策・測定指標との関係】

- ◆ 政策評価における定量的な測定指標である「不正薬物の水際押収量の割合」には、当該事業による実績も含まれており、麻薬探知犬を活用した摘発実績が増加することにより、社会の安全・安心をより一層促進することができる。

(注) 施策 : 政5-3-2-A-1 及び 政5-3-5-A-4 のいずれも、上記の目標値を達成している。